



はぐくもう

2005

6/15 No.28

可児市人権啓発センター



金山城（兼山）からの東海環状線

「はぐくもう思いやりの心」

可児市人権啓発センター会長 小 板 忠 男

当センターは、平成三年十二月、可児市が人権擁護都市宣言を発したことを機に創設されました。以来、「私たちは、互いに相手を尊重しあい、信頼しあいながら、人間としてかけがえのない人生を、心豊かにしあわせにすこせる社会が実現することを願っています。」（同宣言より抜粋）

この主旨に沿って「はぐくもう、思いやりの心」をキャッチフレーズとして、次ページに示したような活動を行ってきました。

そして、この度の合併による新可児市誕生を機に、旧兼山町の皆様ともこの歩みを共にすることになり、お一人に当センターのスタッフとして加わっていただくことになりました。

しかし、こうしたねがいを持ちながらも、日々私たちが目や耳にする報道には、凶悪な犯罪、虐待などなど。命の尊さ、人の人としての権利がいと簡単に奪われる事件が後を断ちません。これらの悲しい事件の背景には、社会的な、あるいは、私たちの理解を越えた事情や要因があったのでしょうか、その根底にあるのは人間相互の心の通い合いの欠如であると思えます。

家庭、近隣、地域社会いずれの場においても、すべての人が、自分と同じ存在にある他に心を寄せ、自分と共に他をも大切にする思い、つまり、人権尊重のねがいを持つならば、昨年度の当センター人権啓発標語の最優秀作品「忘れない 人のぬくもり 思いやり」（中野ゆかりさん）に充ちた社会に一步近づけることができるのではないのでしょうか。

人権啓発センター役員・推進員からの一言

役員 日比野雅子

少し見栄を張ってでも「年をとるのはええで」と若者に宣言できるような生き方をする方がいい、そんな老人を見れば若者も「あのじいさんばあさんええな」と年をとることに希望を持つようになる。それが老人が社会に貢献する最大なことやと思います。(森毅氏より) 私の夢

役員 青山 澄子

私は名古屋出身ですが、殆ど可児で過してきました。可児が大好きな一人です。この啓発センターにお世話になり、六年目になります。良い先輩方に導かれて感謝しております。奥が深くてわからない事も多々ありますが、楽しく勉強させて頂きたいと思います。

役員 山口 博司

人権啓発センターにお世話になり、任期二年が過ぎ、ご辞退申しましたが、図らずも又お世話になることになりました。「人権の仕事は、啓発活動に始まり啓発活動に終る」と聞きます。

今迄の経験を生かし、今後一層の責務を果たすよう努力していかねければと思っております。

役員・推進員 山口 征雄

人生も熟年を迎え、今自分の社会参加の道としてできることは「愛と汗」の実践と考えています。愛情と思いやりを持って人と接する。汗して働き汗して活動する。そんな思いで、志を同じくする方々と共に人権啓発の活動に微力をそそいでいきたいと考えています。

役員・推進員 可児 徳子

七才から男女同席で育ち、男女の特性の違いは感じています。戦災にも遭い、後に懸命に働けど富とは無縁です。異国語も分らないけれど、言語の後ろにあるものは理解しようと努力しています。自分なりの暮らしを楽しんでいる今、人権について再認識したいと思っています。

推進員 内野登代子

高齢化率可児市随一という若葉台に住み、民生委員をさせていただいています。お年寄りや

幼児の人権を守るべき推進員として微力ながらお役に立てればと思っております。

趣味は、読書 音楽鑑賞 篠笛 など

推進員 渡辺 町子

狭い我が家の庭にいろいろな草木が大地にしっかりと根を張り季節ごとにさまざまな花を咲かせてくれます。

「乾いた心は軽い命をつくる」と言われる今、あるがまゝの自分を素直に受け入れることの大切さや、次に継ぐ命の大切さを花の中に学んでいます。

推進員 斎 清喜

私が推進員となりましたのは平成十二年でした。それまで「人権」について深く考えたことなどありません。そんな私に、推進員代表の山口氏よりのお誘いがきっかけでお手伝いすることになりました。これからも地道な小さいお手伝いを続けていきたいと思えます。

推進員 梅溪 得文

私はこの度、可児市に合併した兼山で生まれ育ちました。人は良くも悪くも自身の環境、経験に基づいた判断基準を持っています。それが一度打破されることによって、新たな価値観が見出されることがあります。それが、自分を見直す大切なきっかけになると思えます。

推進員 天野 弘子
すきな言葉「絆」

人と人とのつながりが希薄になりつつある現代だからこそ、思いやりや、「絆」が大切ではないかと思えます。

推進員をやらせて頂いて微力乍らお役に立てたらと思えます。

趣味は、読書 美術鑑賞

座右の銘は、一期一会

推進員 白木 公美

推進員の委嘱を受け、相当の意識を持ち、知識を学びました。色々な立場の社会人を見る時、過去とは違う見方をする自分に気づきました。それぞれの人の価値感をより高めて認識する、些細なことにも理解と応援をする、この姿で努力していきたいと願っています。

推進員 梅溪 得文

私はこの度、可児市に合併した兼山で生まれ育ちました。

人は良くも悪くも自身の環境、経験に基づいた判断基準を持っています。それが一度打破されることによって、新たな価値観が見出されることがあります。

それが、自分を見直す大切な

きっかけになると思えます。

それが、自分を見直す大切な

きっかけになると思えます。

それが、自分を見直す大切な

きっかけになると思えます。

人権啓発センターでは、こんな活動をしています

めぐもり講演会

自分自身の人権について考えたり、他の人々への思いやりの心を育てる講演会、コンサート、映画会等を行っています。



・16年度
シャンソン歌手
「遠藤 伸子氏」

・15年度
清水寺貴主
「森 清範氏」

・14年度
落語家
「桂 文喬氏」

めぐもり懇話会

現代の人権にかかわるテーマを取り上げ、テーマに関係する参加者5、6名で話し合いを深めています。内容については、機関誌「めぐもり」に掲載します。



テーマ 例
「男女差別」
「児童虐待」
「老人問題」
「外国人の人権」

街頭啓発

市民の方々の人権意識を高めてもらうために、大型スーパー等の店頭で人権グッズを配布したり、歩道橋に横断幕を張ったり、市役所や総合会館に人権啓発の登り旗を立てたりしています。



国際ソロプチミスト可児の方々との共催の活動も実施しています。

人権出前講座

家庭教育学級、幼児学級、教職員、企業等の研修に出向いています。自分たちの身の回りの差別について考えたり、ビデオフォーラム、人権標語づくりに挑戦してもらっています。

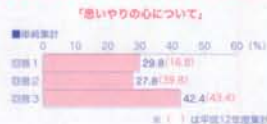


可児市人権意識調査

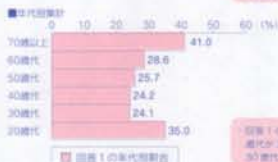
可児市民の皆さんの人権に関する意識調査を数年おきに実施しています。その調査結果を吟味して、人権啓発活動の参考にしています。

【質問11】人権を守ることの大切なこととして「他人への思いやりを心」という意識がありますが、あなた本人との関係の中で、「思いやりのある言葉や行いが多くなって来た」と感じていますか。あなたの回答に近いものを一つだけ選んでください。

1. そう思う。
2. そう思わない。
3. わからない。



・平成12年度と比較すると、回答1の割合が12.0%増加しています。回答2の割合は、12.0%減少しています。



回答1の割合は、70歳以上が41.0%と高く、20歳代が35.9%、60歳代が28.6%と高いです。30歳代が24.1%と低くなっています。

人権啓発標語の募集

多くの市民や小中学生の皆さんから募集します。標語づくりに参加することは、その人の人権意識を高めることにつながります。一人でも多くの方に挑戦していただきたいと考えています。人権週間中(12/4~12/10)、市役所のロビーで展示したり、卓上カレンダーに掲載します。



何気ない
言葉にひそむ
差別の根
(首藤聡美さん)

可児市人権啓発センター

ぬくもり講演会



講師 夜回り先生 水谷 修 氏

演題 「さらば、哀しみの青春
— 今、私たちにできること、
しなければならないこと」

日 時 平成17年11月23日(水)
13:30~15:00(開場12:30)

会 場 可児市文化創造センター aLa 主劇場

入場料 無料
入場整理券は10/20(木)
午前8:30から(1人2枚まで)
可児市役所まちづくり推進課・
各連絡所・兼山振興事務所にてお渡しします。

新刊・新作ビデオの紹介

新しく図書・ビデオが入りま
したのでご利用ください。

(新刊)

☆夜回り先生

☆夜回り先生と夜眠れない子ど
もたち

水谷修著

サンクチュアリ

☆夜回り先生の卒業証書

水谷修著 日本評論社

☆ドラッグ世代

水谷修著 太陽企画出版

☆さらば哀しみの青春

水谷修著 高文研

☆介護入門

モブ・ノリオ著 文芸春秋

☆ほんとうの私を求めて

遠藤周作著 海竜社

☆不良少年の夢

義家弘介著 光文社

☆たったひとつのたからもの

息子・秋雪との六年

加藤浩美著 文芸春秋

☆対岸の彼女

角田光代著 文芸春秋

☆やんちゃ和尚

廣中邦充著 竹書房

☆脳外科医奇跡の指先

福島孝徳著 P H P 研究所

☆在日(姜尚中)

姜尚中著 講談社

☆問題な日本語

北原保雄著 大修館書店

☆天国で君に逢えたら

飯島夏樹著 新潮社

(新作ビデオ)

☆この街で暮らしたい

— 外国人の人権を考える

桜映画社32分

☆えせ同和行為排除のために

東映株式会社30分

編集後記

今年度、可児市に新しく兼
山町が加わり、お互いのふれ
あいが必要視されます。

当センターの役員・推進員
の方々の一言を掲載すること
によって、当センターを支え
て下さる温かい心の部分を知
って頂くことにしました。

機関紙「ぬくもり」が可児
市民の皆さんに関心を持たれ
愛されるように、一層の努力
と工夫をつみ重ねていきたい
と考えています。

市民の皆さんのご支援よろ
しくお願い申し上げます。